

地域福祉についてみんなで考える場を。

チャレンジドフォーラム **第5回** in さが

2008.11.8^{SUN}~9^{SUN} 唐津市民会館



チャレンジド=「しょうがいのある人」を表す米語。
挑戦する機会を与えられた選ばれた人の意味。

CHALLENGED FORUM in SAGA

「どんなしょうがい・
難病であっても、
地域で普通に暮らしたい。」

その願いをかなえるために、
当事者、地域保健・福祉・
医療関係者の行動はどうあるべきか。
年金・保険・福祉の大変革期を迎え、
市町村や県そして国で取り組むべきことは…?

1. 日 時 平成20年11月8日(土)~9日(日)
2. 場 所 唐津市民会館 唐津市西城内6-33 TEL0955-72-8278
3. 公開討論会

参加費/両日 5,000円(資料代)
一日のみ参加の場合は3,000円
当事者、保護者は 両日・一日ともに3,000円
学生は 両日・一日ともに1,000円

< 8 日 > ~障害者自立支援法の平成21年4月の見直しに向けて~ 受付開始 9 時	
10:30~10:55	●障害者月間&フォーラム オープニングセレモニー 藤木卓一郎 佐賀の福祉を進めるネットワーク代表・佐賀県議会文教厚生常任委員会委員長、石丸博 佐賀県議会議長、坂井浩毅 佐賀県副知事、坂井俊之 唐津市長、各種団体の長
11:00~12:00	●基調講演 「障害者自立支援法施行後三年。どうなる?見直しのゆくえ」 衛藤晟一 参議院議員・参議院厚生労働委員会筆頭理事・自由民主党厚生労働部会長
12:00~12:30	休 憩
12:30~14:00	●重い障害と難病のある人たちに必要なもの (進行) 清水明彦 障害者生活相談支援センターのまねつと西宮センター長、福岡たかまる 衆議院議員・厚生労働委員会委員、伊藤 たてお 日本難病・疾病団体協議会代表<北海道>、日浦美智江 社会福祉法人訪問の家理事長、益山龍雄 全国重症心身障害児(者)を守る会 東京都立東部療育センター診療部長
14:10~15:40	●行政の立場からも一言いわせて (進行) 山口和彦 東松山市役所、高原伸幸 厚生労働省障害福祉課障害福祉専門官、佐藤敏行 佐賀県健康福祉本部長
15:50~16:50	●基調講演「障害者理解のすすめ方」 野沢和弘 毎日新聞夕刊編集部部長
17:00~18:30	●障害者の理解と雇用で地域を元気に (進行) 竹中ナミ ブロップ・ステーション理事長、野沢和弘 毎日新聞夕刊編集部部長、古川 康 佐賀県知事、蒲原基道 厚生労働省障害保健福祉部企画課長
19:00~	交流会 長崎荘 (0955-72-2254/唐津市民会館左隣) 参加費(別途)5,000円

< 9 日 > 受付開始8時30分	
9:00~10:30	●障害者の「働く」に必要なもの (進行) 田中正博 全国地域生活支援ネットワーク代表理事、竹中ナミ ブロップ・ステーション理事長、増田秀徳 内閣府医療福祉特区推進委員・NPOココロネット理事長
10:40~12:00	●発表!! 日本をせんたくする 「障害福祉がばいハ策」 (進行) 福市繁幸 チャレンジドフォーラムinSAGA実行委員会代表、(難病)三原睦子、(発達障害/自閉症)江口寧子、水野敦之、(精神)野田理津子、(重心)大庭恵、(知的障害)福島龍三郎、(医療)木原昭裕、(障害者理解)梶川泰弘

4. 主 催 チャレンジドフォーラムinSAGA実行委員会、佐賀の福祉を進めるネットワーク、佐賀県地域生活支援ネットワーク、全国地域生活支援ネットワーク
5. 後 援 厚生労働省、佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県市長会、佐賀県町村会、佐賀県社会福祉協議会、唐津市、佐賀市、(福)日本身体障害者団体連合会、(福)全日本手をつなぐ育成会、(社)全国肢体不自由児・者父母の会連合会、日本難病・疾病団体協議会(JPA)、日本IDDDネットワーク、佐賀県肢体不自由児者父母の会連合会、佐賀県難病支援ネットワーク、佐賀県精神障害者家族会、佐賀県知的障害者福祉協会、佐賀県身体障害者施設協議会、佐賀県授産施設協議会、佐賀県自閉症協会、それいゆ、(社)佐賀県医師会、(社)佐賀県歯科医師会、日本赤十字社佐賀県支部、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、読売新聞佐賀支局、STSサガテレビ、NHK佐賀放送局

< 講師の都合等により当日直前まで全てのプログラムに変更の可能性がありますのでご了承ください。 >